

10 トンダンプというのはいない、総重量 20 トン未満と認識して過積載根絶指導を要請 ダンプキャラバン (2 日目) が終了しました 災害復旧工事の本格発注はこれから・・・

広島県のダンプ労働者の新聞

ダンプ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
広島ダンプ支部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町一丁目二九一三〇三
TEL (082) 2351305
FAX (082) 2351305
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

広島ダンプ支部は、七月の豪雨災害の影響で要請できなかった「ダンプキャラバン」二日目(七月十八日)の要請先(三か所)への要請行動を十一月二五日に行いました。この行動には県本部の中藤久雄委員長はじめダンプ支部から武田事務局長、岩男執行員、山田特別執行委員が参加しました。

災害復旧工事現場

も人手が不足

午前中は地元建設業協会が加入している広島県建設工業協会に要請、宮本純治事務局長が応対、七月豪雨災害のことが話題になるとともに、災害復旧工事で人手が不足していると述べていました。同時に「担い手三法」のことも意見交換しました。

組合側からは「担い手三法」では、建設労働者の労働条件改善のため発注者責

任も元請け責任も明確にされていることを強調。災害復旧工事でのダンプ持ち労働者の労働条件改善で整備局や県や広島市、呉市に『緊急の要請書』を出したことを説明しました。

今後もダンプの労働条件改善や建設業界の向上に向けて意見交換することを確認しました。昨年に続きダンプキャラバンのパンフを会員(会社)に配ってもらうことにしました。

総重量 20 トン未満と認識

午後一時過ぎには県の出先広島県東部建設事務所に要請、上田隆博所長、武田和史次長など各担当部署の幹部が参加しました。



写真上から広島県建設工業協会、広島県東部建設事務所、福山市に要請しているところ。(11月15日)

双方から代表挨拶と自己紹介の後、武田事務局長がキャラバンの趣旨説明を行いその後意見交換しました。岩男執行委員は組合の過積載実態調査に関して「20トン積めるダンプはないので総重量20トン未満と認識して過積載防止を指導してもらいたい」と強調しました。災害復旧工事では、事務所が管轄する所は1300ヶ所にもものぼることでした。ダンプの相場単価の改善についても強く要求しました。

要望を真摯に受け止めていきます(福山市)

福山市建設局では契約課長はじめ三人が参加しました。「組合の要望を真摯に受け止めている」として、四月一日実施の「入札及び契約制度の改正内容」を工事契約者に渡して指導していると説明しました。過積載の防止や建退共の証紙の貼付などについて元請けに周知徹底する内容が書かれています。

個人賠償責任保険へ加入を

例えば自転車を倒して傷をつけたら、壊したりした場合など日常生活での「思いがけない」賠償事故のを補償する責任保険です。今年加入直後に10万円近い事故を起こし、保険で早速賠償し、喜ばれました。これから加入する分は来年4月1日発効となります。

徒然草

■今年も残すところあと一か月余り。ここに来て朝晩の冷え込みが厳しくなってきた。立冬が過ぎ冬本番が来たというところか。山もますます色づいてきた◆今後の日本の有様を大きく変える可能性のある法律が国会に出され、政府は来年四月には実施するという事で、いまの国会(十一月一日会期末)で成立させようと審議を急いでいるが、出されたばかりで中身がひとつよくわからない。「労働力不足で外国人労働者に頼るしかない」と財界団体から出された要望とのこと◆確かに「労働力不足」は事実である。しかし介護現場や建設現場など特定の業種・サービスに労働力不足が偏っているのも事実である。人が集まらないのは仕事の内容に反して報酬(賃金)が安いのが一番の原因だと思ふ。待遇を大幅に引き上げても労働者が来なかったというのはあまり聞かない◆介護現場の労働者の賃金は平均的な労働者の賃金よりも年間七〇万円も低いという調査もある。また外国人の技能実習生の失理由も「高い賃金を求めて」というのは「ウソのデータ」だったと法務大臣が陳謝したばかり。またか!と思ってしまう◆今の国会で成立させるべきでないとの世論はさらに高まっている。「そんなに急いでどこへ行く」である。(M)

要注意！交通事故が増えています 広島と呉で交通安全講習会を開催



一月一〇日(土)は広島で、同一七日(土)は呉市で毎年定例の「交通安全講習会」を開催しました。企業組合の組合員を中心に、それぞれの会場には約三〇人が参加し、講師のパワーポイントを使つての講義に目と耳を集中しました。

広島講習会には交通安全協会から、呉講習会には交通安全運転協議会から講師に来てもらいました。とくに広島講習会では交通機動隊勤務のとき山陽道の「八本松トンネル」事故処理にあつておられ「長時間運転」の危険性について強調しました。

講義終了後は武田喜成事務局長から最近の事故状況の報告があり、軽微な人身事故や物損事故が相次いでいることが報告され、事故が多発する年末に近づいており、一層安全運転に心がけることを呼びかけました。高齢運転手による「逆走」などによる重大事故も増えており「もらい事故」を避けるためにもよ



県庁前で開催された県民集会の参加者と建交労の旗 (11月3日県庁前広場にて)

り慎重な運転を心がけることが重要です。また軽微な事故と思つても必ず事務所に連絡しましょう。

(写真上は広島講習会、下は呉講習会の様子)



県民集会に三五〇人が参加

一月三日(祝)の午前十一時から県庁前広場で「安倍自公政権」もういやだ！守れ！くらし、いのち、人権、平和11・3県民集会」が開催され三五〇人が参加、建交労広島ダンプ支部、県本部からも参加しました。(写真上)

集会では実行委員長の神部県労連議長が挨拶、労働組合や女性団体、平和団体などから決意表明があり、安倍「暴走」政治をストップさせ平和と民主主義、いのちと、暮らしと、雇用を守るたたかいを、さらに前進させましょう、との集会アピールを採択し、市内をパレードしました。



越智先生を職場に戻し、民主的な山陽高校をつくる会総会 (11月18日弁護士会館)

越智竜也先生に不当判決！

控訴し闘うことを表明

西区にある私立山陽学園高校を雇い止めされた越智竜也先生が「四年目からは専任教諭にする」との約束を守らず、明確な理由も示さず雇い止めすることとは許されないと学園側を訴えた地位確認等請求事件裁判の判決が一〇月三十一日広島地裁(小西洋裁判長)で行われました。

学園でも問題あり改善された金銭取り扱いのミスを「着服」と決めつけ

判決の中で、学園側が当初雇い止め理由にあげていた「自習時間が多い」など一〇項目にも及ぶ内容についてはすべて退けられたにもかかわらず、学園側が裁判になってから新たに付け加えてきた金銭の取り扱い(現在では改善されて教員は扱わず事務局で取り扱っている)に関わるミスを「着服」と決めつけ学園側の雇い止めを認める不当な判決を行いました。「越智先生を職場に戻し、民主的な山陽高校をつくる会」では直ちに控訴を表明、闘う体制強化のため一月一八日(日)に総会が開催されました。(写真は「つくる会」総会で挨拶する越智竜也氏)

今後の組合活動日程

- 一・二・一 建交労青年部総会(二日)
- 一・二・三 「三の日」行動
- 一・二・五 建交労広島県本部執行委員会
- 一・二・七 広島県二〇一九春闘共闘結成総会
- 一・二・一四 ヒロシマ地域総行動実行委員会
- 一・二・一五 企業組合福山定例会
- 一・二・二〇 広島労職支部執行委員会
- 一・二・二一 ダンプブロック会議
- 一・二・二八 仕事納め
- 二〇一九年
- 一・七 仕事始め
- 一・九 新春宣伝行動、「組合旗開き」
- 一・一一 中国地協事業団・高齢者交流会
- 一・一二 ダンプ企業組合広島定例会
- 一・一九 ダンプ企業組合呉定例会
- 一・二六 建交労中央委員会
- 一・二六 ダンプ支部合同役員会
- 一・二七 建交労全国ダンプ部会総会(二八日)
- 一・三 県本部二〇一九年春闘討論集会

どんなお仕事の方でも
おひとりからでも
入れる**労働組合**です

建交労

【全日本建設労働組合連合会】